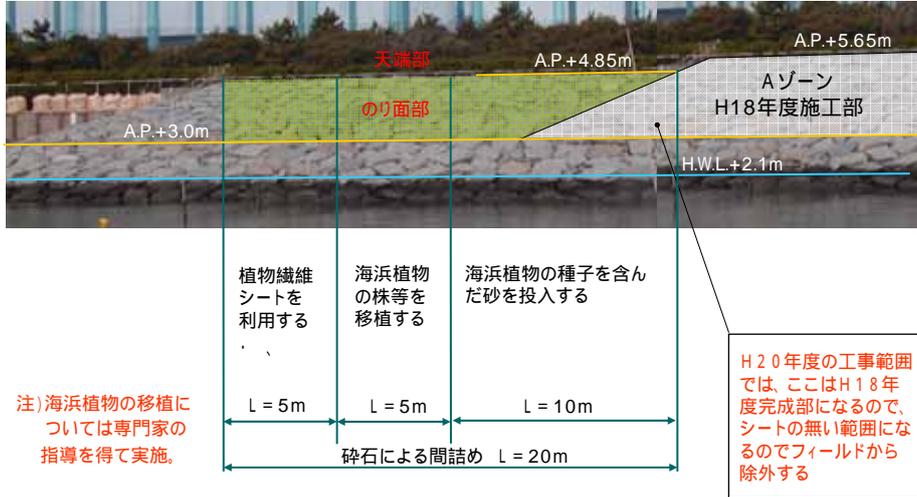


(5) 試験内容(案): Bゾーン

Bゾーン: H20年度施工部

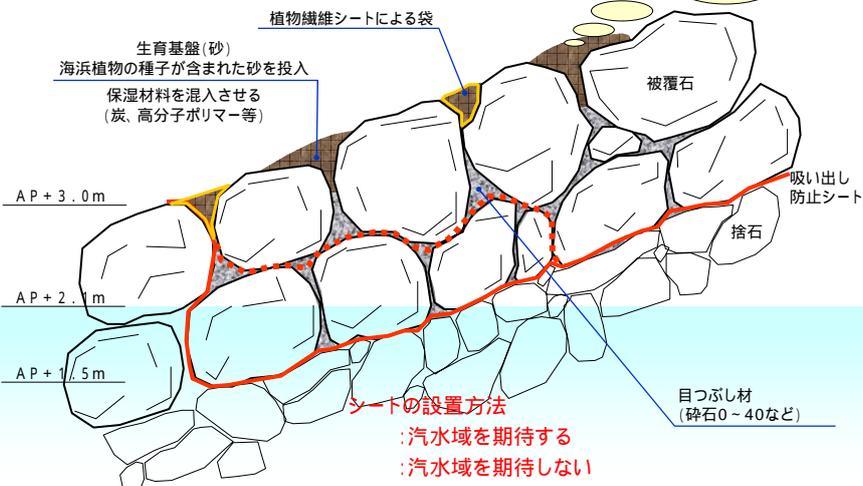
Aゾーンの写真を使ってイメージを作成



間詰め + 海浜植物の種子が含まれた砂の投入

課題点 砂が流れ出ないか。

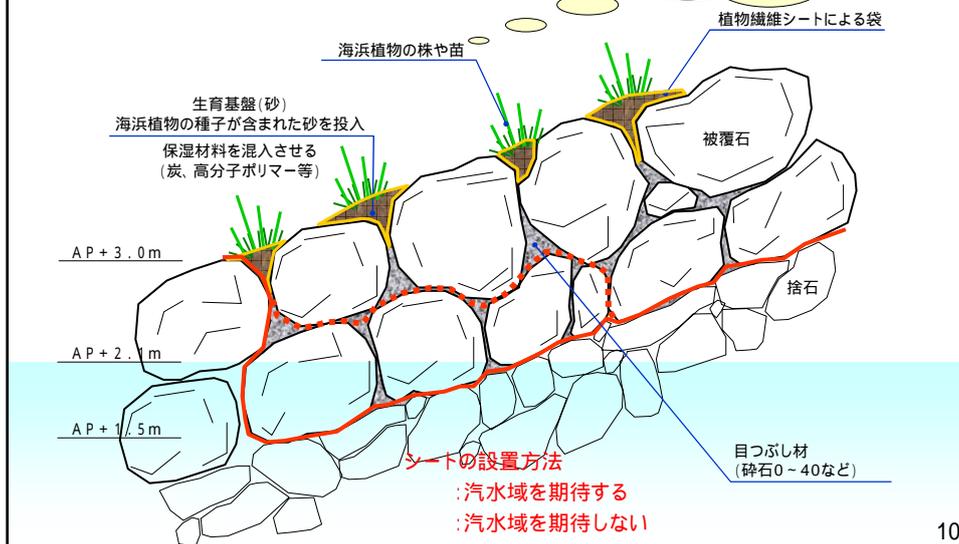
生育基盤(砂)や苗・株について江戸川放水路や船橋三番瀬海浜公園からの導入は可能か？



間詰め + 海浜植物の株・苗の移植

課題点 砂が流れ出ないか。

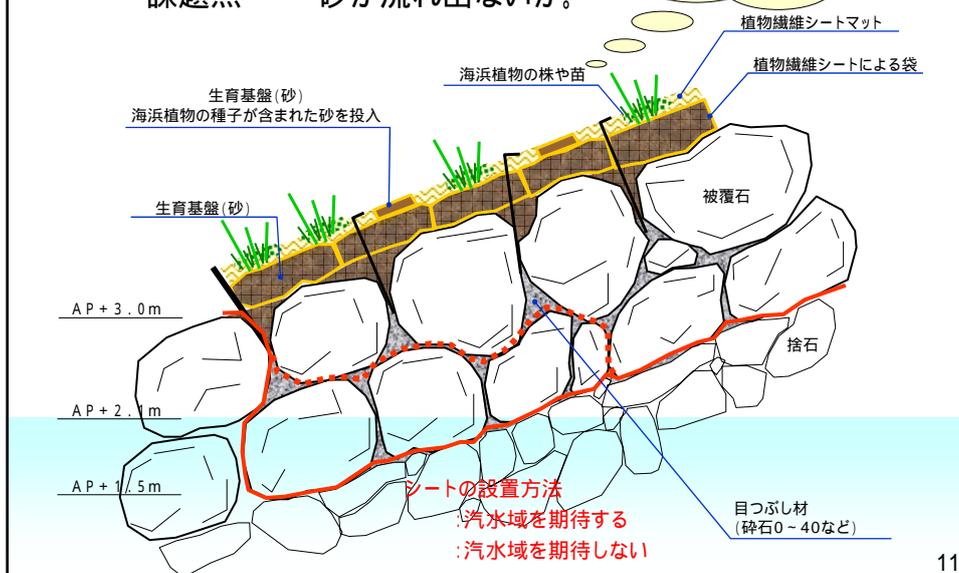
生育基盤(砂)や苗・株について
江戸川放水路や船橋三番瀬海浜公園からの導入は可能か？



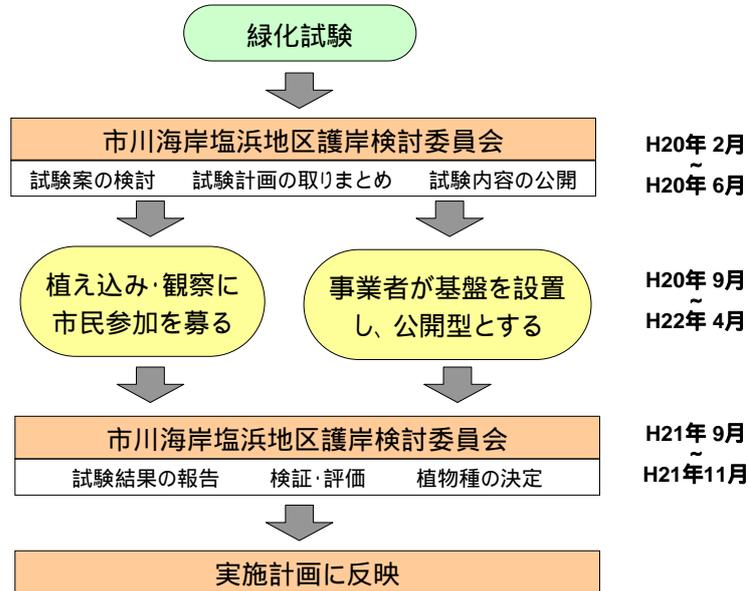
間詰め + 植物繊維シートマット利用

課題点 砂が流れ出ないか。

生育基盤(砂)や苗・株について
江戸川放水路や船橋三番瀬海浜公園からの導入は可能か？



(6) 進め方のフロー(案)



12

3. 石積み護岸の緑化試験の実実施計画

植物種の選定：海浜植物の種子が含まれる砂を投入するケース

砂の採取地と時期を専門家等の意見を参考に定める。

植物種の選定：移植するケース

石積み護岸の緑化のための植物種を専門家等の意見を参考に選定する。

例) 船橋三番瀬海浜公園の実情を参考にすると、ハマゴウ、ハマヒルガオ、ハマボッス、イワダレソウ、ハマダイコン等が目標植物種として揚げられる。

13

目標植物種の例



ハマゴウ

クマツヅラ科ハマゴウ属の落葉小低木

北海道を除く各地の砂浜や磯浜に群生し、北方のハマナスに対し南方を代表する海岸小低木。

茎は長く伸びて枝分かれし、砂の上をはって広がることから、海岸の砂防に役立っている。

花は7～9月に咲く。



ハマヒルガオ

ヒルガオ科ヒルガオ属の多年草

各地の海岸に見られるほか、ときに内陸の湖岸、河原にも生える。

地下茎は白く、砂中に深く入る。茎は砂上を長くはい、枝分かれする。

花は5月ごろ咲く。



ハマボッサ

サクラソウ科オカトラノオ属の2年草

北海道南部から南西諸島までの海岸の崖地にふつうに生息する。

茎は基部で数本に分かれ、束のように見える。

花は5～6月に咲く。



イワダレソウ

クマツヅラ科

関東地方以西に分布。

砂浜に露出した母岩の上をはったり、やや湿った土壌の混入した砂地に茂ったりで、純粋な砂浜に生えることはまれである。

写真の出典と文章の参考資料：山溪カラー名鑑野の植物誌、日本野生植物館

14



ハマダイコン

アブラナ科ダイコン属の1年草

日本各地の海岸に分布し、砂礫浜や内湾に多い。全体にやせていて、粗い毛を多く生やす。根は特には太くならない。

果皮が乾くとスポンジ状になるため海水に浮く。

花は3～4月に咲く



ハマニンク

イネ科エゾムギ属の多年草

北海道、本州(太平洋側では房総半島以北)、九州北部に見られる。北日本では砂丘上に、東北地方南部以南では波打ち際近くに群落をつくることが多い。

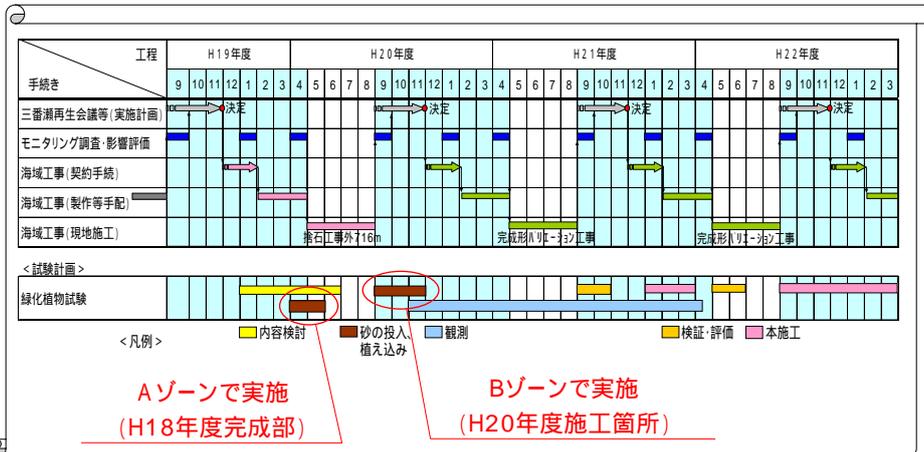
太い地下茎を伸ばして繁殖し、株をつくる。

写真の出典と文章の参考資料：山溪カラー名鑑野の植物誌、日本野生植物館

15

実施スケジュール(案)

植物の植え込みや観測の時期・頻度等について
試験期間や実施密度の時間条件について



16

4. さらし砂試験計画(案) (護岸検討委員会の意見を反映)

(1) 目的

1丁目隅角部の静穏域を利用して、さらし砂を投入した場合の砂の挙動とそこに構成される生物相を確認し、今後の護岸バリエーションの検討材料とする。



試験場所の状況

投入場所

確認項目

砂の挙動

・測量的な手法によって変状を確認する。

生物相

・生物調査を行って、どのような生物が確認されたかを整理する。
(砂地の良好性をアサリでみる)

17